

役場庁舎周辺地域 12.8 ha 新たに市街化区域に編入

地権者で土地区画整理事業を推進

このほど、役場庁舎周辺十二・八公畧が新たに市街化区域に編入されました。

当村は、昭和四十五年二月七日に新潟都市計画区域に編入(面積千九百〇七)、同年十一月十六日市街化区域に八十九公畧、市街化調整区域に千八百一十一公畧の区域区分が決定して現在に至っています。

昭和五十九年より、新たに市街化区域に編入するための作業が進められてきましたが、関係機関との調整が終了し昭和六十一年三月二十五日に地区編入になったものです。

この地区の土地利用については、住宅地建設を目的とした用途設定が行われ、国道沿いと県道横越・新潟線(通称赤道)沿いは住居地域として

昭和六十年の献血者は全国で約八百七十七万人。全人口の約七・二%の献血率は、世界でもトップレベルを誇ります。しかし、一回当たりの献血量「二百ミリリットル」は、世

人生八十年社会——わたしたちは今、かつて経験したことのない長寿時代を迎えています。同時に、医療の進歩によって、一昔前ならば、体力のない高齢者は受けられなかった手術も、今では可能になりました。そのため今までの献血制度ではすでに、すべての血液製剤を国民の献血だけでは賄い得ない状況になっています。

そこで、血液の安定確保を目的し、四月から献血制度が生まれ変わりました。

あなたが選択
三つの献血方法

昭和六十年の献血者は全国で約八百七十七万人。全人口の約七・二%の献血率は、世界でもトップレベルを誇ります。しかし、一回当たりの献血量「二百ミリリットル」は、世

界でも最少量のレベルです。そのため多くの善意にもかかわらず、医療用の血液は十分なのが現状です。このため今回の改正では、従来の「二百ミリリットル献血」に加え、新たに「四百ミリリットル献血」と血液中の特定成分だけを採血する「成分献血」が導入されました。



献血制度が変わりました 三つの献血方法に

◆献血基準

献血種類	全血	成分献血	血小板成分献血
1回献血量	200ml	400ml	400ml
年令	満16才～満64才	満18才～満64才	満18才～満64才
体重	男子45kgをこえる方 女子40kgをこえる方	男・女共50kg以上	男・女共50kg以上
血液比重	1.052以上	1.053以上	1.052以上 1.053以上
献血間隔	男女共1ヵ月以上	男子 3ヵ月以上 女子 4ヵ月以上	男・女共2週間以上 男・女共1週間以上
年間献血回数(量)	男子 1200ml以内 女子 800ml以内	24回以内	12回以内

注：成分献血については昭和61年10月より実施の子定です。

その結果、四月からはこれら三つの中からどれかを選んで献血できるようにしました。

献血にご協力
ありがとうございました

村においては、昭和六十年度の献血で、延べ七二一人からご協力をいただき、献血目標人数六〇〇人に対し、一二・二%という達成率を上げることができました。

みなさんが献血された血液は、病気や事故などの患者さんに輸血され役立っています。今年度の目標は、昨年度と

▽村の建設業協会(代表・田中一幸)より村に木下大サカス入場券(大人二枚・子供二枚)の寄贈がありました。

村では、保育園児等を対象に利用させていただき、△村の初代教育長を勤められた、亡くなった長谷部尚一氏のご家族より、葬儀に際しての香典返しとして十三万円が村に寄付されました。

村では、福祉事業に活用されるようにと横越村社会福祉協議会に伝達いたしました。

村社会福祉協議会ではご厚志を遺族の意志に沿うよう役立たせたいと感謝しています。

◎ご厚志ありがとうございます

- 十一回 伊藤キヨ(沢 海)
- 十一回 林 克成(二本木)
- 十一回 羽賀豊穂(横 越)
- 十回 藤崎幸雄(二本木)
- 十回 浅見正吉(沢 海)
- 十回 媚山盛雄(小 杉)
- 十回 大森正彦(二本木)

村公衆衛生協議会では、三月二十八日に開催した総会において、昭和六十年年度献血功労者として、村内在住十回以上七名、村外二十回以上十四名を表彰しました。

村内表彰者は次のとおりです。(敬称略)

献血功労者を表彰

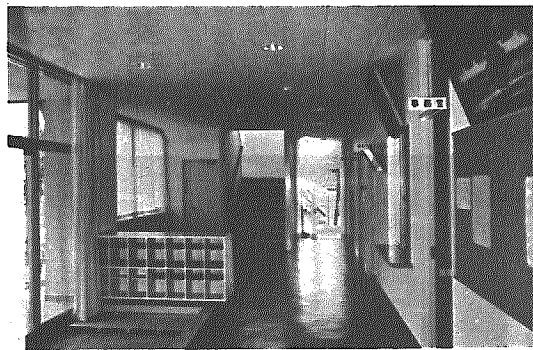
同じ六〇〇人です。お互いの尊い生命を守り合うため、献血により一層のご協力をお願いします。

みんなの力と協力で……防ごう洪水、守ろう街を！阿賀野川水防演習

日時 5月25日(日)午前9時30分～12時30分
豊栄市高森地先(阿賀野川右岸堤防)



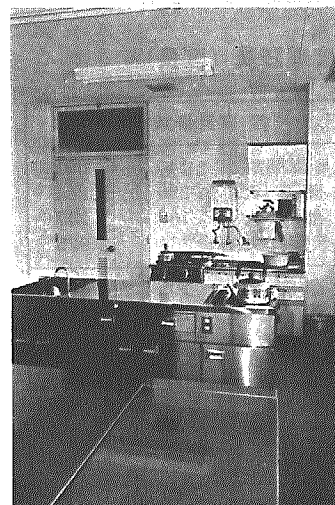
▲明るく清楚な感じのコミュニティセンター (正面側)



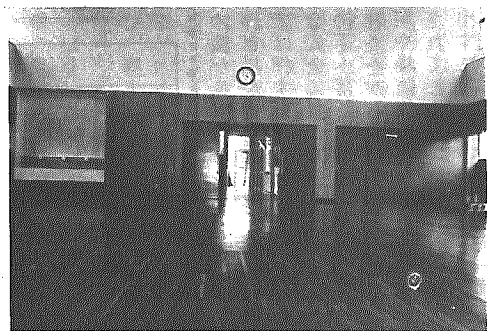
▲玄関に入ったロビーには図書コーナーもある



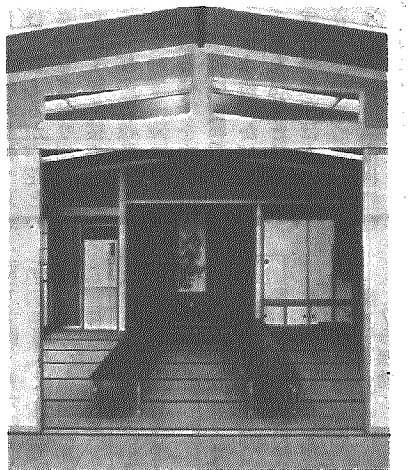
▲地区関係者らが集まり喜びの竣工式



▲実習室には調理台が2台入り、明るく清潔



▲集会や卓球など室内スポーツが楽しめる 多目的ホール



▲和室の会議室と学習室は続けて利用できるになっている

喜びの竣工式が行われる

4月10日

小杉地区コミュニティセンター

地区住民活動の中心施設としての小杉地区コミュニティセンターが完成し、四月十日に地区関係者や村長・議長ら三十八名が出席して、喜びの竣工式が行われました。

このコミュニティセンターは、鉄骨一部二階建て延床面積三八八平方メートルの広さで、一階には多目的ホール・事務室・料理実習室など、二階には和室の会議室・学習室のほか会議室があり、各室とも大変明るく落ち着いた印象のする施設となっています。

「なんでも相談」
5月20日(火)
午前9:00～12:00
午後1:00～4:00
村長室で村長が直接相談に応じます。是非ご利用を。

特別養護施設建設募金
ご協力に感謝します

「胎内やすらぎの家」に併設される、小規模特別養護老人ホーム「建設募金」については、三月に囑託員の方を通じて、各家庭のみさんからご協力をいただき二〇一、〇四九円の募金が寄せられました。

募金については、四月に「胎内やすらぎの家」内事務局の方へ送金いたしました。ご協力に厚く感謝いたします。

(役場保健福祉課)

献血にご協力を
5月21日(水)
午前10時～午後4時
山崎製パン 新潟工場